

さくら通信



令和4年6月20日
廿日市小
生徒指導だよ

子どもたちへたくさんのメッセージありがとうございました！

5月31日（火）に行われた運動会には、平日にもかかわらずお忙しい中ご参観いただきありがとうございました。また、がんばった子どもたちに対するメッセージをお寄せいただきありがとうございました。こんなに多くのメッセージが集まったのは初めてです。また、自分のお子さんの学年だけでなく他の学年に対しても多くのメッセージをいただきました。カードがあふれるように貼られた掲示板をうれしそうに見る子どもたちの姿がたくさん見られました。保護者の皆様からの言葉に、子どもたちは喜び、その「ほめてもらった」「がんばりを認めてもらった」という思いが次への意欲となっていきます。ご協力いただきありがとうございました。



6年生のみなさんへ

最高学年だけあって堂々ときびきびと動いていました。全体的にまとまっていて1つの作品を見ているようでした。最後のメッセージ、感動して涙が出ました。

5年生のみなさんへ

表現ではぴったり合う旗がとてもきれいでカッコよかったです。何度も合わせる練習をしたことが伝わってすばしかったです。下級生を応援する姿に感動しました。

4年生のみなさんへ

花がさはとてもはなやかで見たえがありました。たくさん練習したんでしょうね。成長した姿が見れてうれしかったよ。
4年生 カッコいい！



1年生のみなさんへ

こんなにもしゅうだんこうどうができ、たのしみながらいっしょうけんめいがんばっているすがたはすごいとかんしんしました。

2年生のみなさんへ

すごくあつい中、とっても長くてむずかしいダンスをがんばっておどっていましたね。かわいくてカッコよかったよ。げんきをありがとう！

3年生のみなさんへ

廿小ソーランはとっても上手でした。みんなこしをひくくしておどっていましたね。いしょうもにあっていてすてきでした。



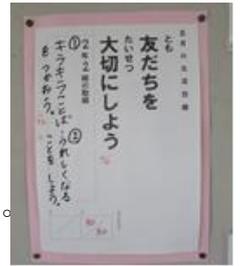
「命の大切さについて考える日」の取組を行いました

廿日市市では、平成26年度から5月8日を「命の大切さについて考える日」と設定し、すべての子どもたちが、自分や周りの人の命の大切さについて真剣に考える取組を行っています。

本校では、5月10日(火)に放送による朝会を行った後、各クラスや委員会での取組を行いました。

(1)放送による学校朝会での取組

- 学校朝会で、校長先生が『友達』について話し、「友だちを大切にすることはどういうことでしょうか」「『ともだちはいいものだ』の歌詞にある（みんなは1人のために 1人はみんなのために）とはどういうことでしょうか」と投げかけられました。また「みんなで、日本一楽しい安心して学べる学校にしていきたいと思います」と話されました。



(2)各学級での取組

- ①校長先生の話を書いた感想をまとめたり、この日の意義や目的を確認したりしました。
- ②5月の生活目標「友だちを大切にしよう」について、学級の取組を話し合いました。
- ③「生命尊重」に関する道徳の時間を設定し、命の大切さについて考えました。



(3)委員会活動やその他の取組

- ・新聞掲示委員会では、各クラスの取組を集約して掲示し、放送で、「日頃から相手思いやり自分の命も大切にしていましょ」「1人で悩まず相談しましょ」と呼びかけました。
- ・放送委員会では、「みんなのいいことみつけをしよう」と呼びかけ、「キラキラ（いいところ）を見つけたら、キラキラボックスに入れてください」「その中から少しずつ紹介します」と放送しました。
- ・図書室入口に「命の大切さを考える本」のコーナーを設置し、「大切な命」に関する本の紹介・貸出を行いました。



朝会後の感想を紹介します

・ともだちがうれしくなってほしいな。みんなげんきでやさしい学校にしたいです。 【2年生】

・校長先生が友だちはいいものとおしえてくれました。それを聞いて、こんどから友だちとなかよくしてたすけあいたいと思いました。 【3年生】

・改めて友達の大切さがわかりました。校長先生が話された「1人はみんなのために」という言葉で、自分は、係や当番、委員会などをもっともっと一生けん命やっていかなければならないと思いました。友達ってというのは当たり前でなく、特別な人なんだと考えました。いじめや仲間はずれはぜったいにやってはいけないと思いました。 【5年生】

・校長先生が、お話のさいごに「日本一楽しい学校にしよう」と言っていて、わたしは「日本一毎日え顔でしあわせになれる学校」にしたいです。もっと友だちをたくさん作って、みんなでいっぱいなかよくしたいです。

【4年生】

・ふだん命についてあまり考えないけど、命はとても大切ということを通して改めて感じました。つらいことがあったら相談できる「友達」「家族」「先生」がいるだけで命を大切にする一歩につながると思うし、日常の何気ない会話も心が楽になると思います。自分のことを大切にしてくれている周りの人のことをしっかり考えて、相手の気持ちを考えながら助け合える関係をこれからも続けていきたいです。 【6年生】